

ササクレヒトヨタケ

空調栽培マニュアル



ササクレヒトヨタケはコブリーヌとも呼ばれ、独特の風味と形状で他のきのこのことの差別化が容易です。
また、比較的高い温度で発生が可能のため、空調施設栽培において夏場の消費電力の削減が可能です。



ササクレヒトヨタケ栽培マニュアル 2017年3月発行

編集・発行：三重県林業研究所
〒515-2602 三重県津市白山町二本木3769-1
TEL 059-262-0110 FAX 059-262-0960
E-mail: ringi@pref.mie.jp
<http://www.pref.mie.lg.jp/ringi/hp/index.htm>

三重県林業研究所

◆ ササクレヒトヨタケ栽培工程(空調栽培) ◆

培地作製

袋詰め

殺菌

放冷・接種

1日

1日



パーク堆肥に米ぬか、ビール粕等の栄養体を混合し、含水率を62%前後に調整します。

ポリプロピレン製の栽培袋に、培地を2.5kg程度詰めます。

培地内の温度が118℃以上で90分程度維持し、培地内の害菌を殺菌します。

クリーンな条件下で1晩放冷した後、ササクレヒトヨタケ種菌を接種します。

培養

菌掻き・覆土

発生

収穫・出荷

2カ月程度

1日

菌掻きから1カ月程度

1日



温度20-24℃、湿度70%程度の条件下で2カ月程度培養します。

培養の完了した培地の表面を掻き取り、パーク堆肥を覆土、もしくは容器等に埋め込みます。

温度18-22℃、湿度90%程度の条件下できのこの発生を促します。

きのこの傘が膨らむ前に収穫しパック詰めします。接種から初回発生までの期間は80-90日程度で、その後も継続して発生します。1菌床当たりの合計発生量は600g程度です。